2月21日（日）

第1会場	16：30〜18：00　デバイススタディセッション
2階　講堂	Up- to Date：新しいEvidenceを求めて

【概要】

Deviceの進歩は日進月歩であり，その新しい概念やevidenceの多くはdevice企業と医療機関共同の，所謂，studyの結果生み出されて来ている。今，deviceには何が求められているか，最新の情報と今後の行方を知るには，現在進行中（on going）の各device企業と医療機関共同のstudyを知ることが必要である。このセッションでは，deviceに関して，現在3社が進行中のstudyを有しており，3社の夫々のstudyを討論してみたいと考える。

将来の展望から，何を目的として，また，その目的のためにはどのようなプロトコールが良いか等々，このセッションで討論することが将来のdeviceの展望を決定付ける可能性があると思われる。

〔座長〕**青沼　和隆**　筑波大学大学院人間総合科学研究科循環器内科

産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座　○安部　治彦
共催：セント･ジュード･メディカル株式会社

自治医科大学循環器内科　○三橋　武司
共催：ボストン･サイエンティフィックジャパン株式会社

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科　○野呂　眞人
共催：日本メドトロニック株式会社